

# 私たちの 「まちづくり」計画

## II

港・ふれあいのまち城乾

【城乾コミュニティ】



## はじめに

平成20年1月、港、ふれあいのまち城乾の「第Ⅰ期まちづくり計画」を策定して以来10年が経過しました。その間地域の皆様方のご協力により、各部会を中心とした各種行事、講演会等々で大きな成果を上げてきました。

しかし、この10年間、少子高齢化の進行、情報技術(IT)・人工知能(AI)による産業構造の変化、価値観の多様化、格差の広がり、人間関係の希薄化等により、社会は予測困難で不透明感を増しています。

城乾地区の状況は、平成27年の国勢調査によると10年前に比べ人口は約3,000人で14パーセント減、世帯数は約1,550世帯で7パーセント減、また高齢化率は34.4パーセントで約3パーセント増となるなど大きな変貌を遂げました。一方、「第Ⅱ期まちづくり計画」策定にあたり実施したアンケート調査によると、「城乾地区の住みやすさ」については、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した人の合計が約92パーセント。「これからも住み続けたいか」の間には約86パーセントの人が「今後も住み続けたい」と答え、城乾地区住民の地域への思いや願いが伝わってきます。

地域の皆様のこの思いや願いを実現するために、社会がどんなふうになろうとも住民の「固い絆」に支えられた「安全・安心」「笑顔あふれる」まちづくりに向けて、下記の「5つの基本方針」を掲げ、全力で取り組んでいきたいと考えています。皆様のなお一層のご支援ご協力を心よりお願いいたします。

- 1 助け合い、支え合って暮らすまちづくり
- 2 安全で安心して暮らせるまちづくり
- 3 「ひと」も「まち」も元気あふれるまちづくり
- 4 「こども」が生き生きと輝くまちづくり
- 5 地域の歴史的環境や文化等に学ぶまちづくり

港、ふれあいのまち城乾  
会長 曾根 照 正

# 目 次

## I 概 要

1. 地域の概況…………… 3
2. 地域の人口構成・世帯構成… 4
3. 地域の商工業等…………… 4
4. 神 社…………… 4
5. 寺 院…………… 5
6. 史 跡…………… 6
7. イラストマップ…………… 8
8. 地域住民の意識…………… 9

## III 資料編

1. 城乾地区の変遷（歩み・出来事）……………26
2. コミュニティ組織図……………26
3. 「港、ふれあいのまち城乾」まちづくり計画Ⅱ  
策定委員名簿……………27

## II まちづくりプラン

### <各部会のまちづくり実行計画>

- 【総務部会】 歴史に学び絆を深めて地域力を向上……………12
- 【健全育成部会】 心豊かな子どもを育む地域力の向上……………14
- 【環境部会】 環境保全と環境美化推進で地域力の向上……………16
- 【福祉部会】 高齢者慰問や三世代の交流による福祉の地域力を向上……18
- 【保健部会】 生活習慣と受診率の改善で健康の地域力を向上……………20
- 【体育部会】 地域の親睦と交流をキーワードに地域力を向上……………22
- 【特別委員会】
  - ① ふれあいまつり……………24
  - ② 防犯パトロール……………24
  - ③ チャレンジデー……………24
  - ④ 防災事業……………24
  - ⑤ 放課後子ども教室(いぬいっ子クラブ)……………24
  - ⑥ 高齢者認知症予防対策事業……………24

# I 概要

## 1. 地域の概況

私たちのまち城乾は、丸亀市の北部、丸亀城の乾(北西)の方向に位置し、北は、その昔「こんびら」参詣をはじめ、船の出入りで賑わった海の玄関「丸亀湊」に面し、南に向かっては、こんびら街道や藩政時代にゆかりの寺社のある地区へと連なっています。東西、南北とも約1.1kmの地域で、その地勢は、北(海岸部)から南(市街地)に向かって地域を構成し、まちの形成・変遷を経て、現状は、おおよそ次のとおりです。

町 別	地 区 の 形 成	地 区 の 状 況
港 町	明治以降、塩田跡を造成した海岸沿いの地域	工場・倉庫を主体に、住家は、浜街道沿いの一帯沿いに十数軒が所在する。(造成地のため、災害時には液状化・浸水等が懸念される。)
西平山町	古くからの街区で、住宅街を縫う道路は狭隘である。	住家や生活関連商店が混在する。江戸後期整備された新堀港が福島港とともに、海上交通の拠点として賑わったが、今は少子高齢化が進み空き家も目に付くようになっている。太助灯籠等昔を偲ぶものが多く残る。(災害時の対応が懸念される。)
通 町	古くからの商業街区	住民の世代分離、郊外転出、大型店の進出等で商店街の利用客が減少し、シャッターを閉ざす店舗が増加していたが、関係者の努力によって徐々に再生への道が開かれつつある。
南条町	古くからの街区	藩政時代のゆかりの寺院が多く、「こんびら街道」沿いの古い町で、住家、生活関連商店が混在する地域。近年はマンションも建設されている。
福島町 新 町	江戸時代、塩屋方面から東に延びた州浜に町が形成され福島町となった。また、明治から大正初期にかけ、西汐入川の付替え、河口の埋立てにより新町ができた。	福島湛甫から明治後期に改修された丸亀港となり、海上で訪れる旅客で賑った昔の面影はなく、今は、市島しょう部へのアクセスのみである。若い世代の流出等で高齢者が多く、一部マンション・アパート等の居住者を除いて、子どもの姿もあまり見られない。また、マンション等、住民の地域との連帯(自治会加入)や沿岸地域としての防災対応が課題である。
西本町	古くからの街区 (多度津への街道沿いの町)	かつては商店も比較的多かったが、今はその数は減少し、空家、空地が処々に見られる。住家が主体の町。一方、マンション、アパートが年々増え自治会の加入率も下がっている。
幸 町	比較的新しく形成された街区 (昭和39年、丸亀市庁舎が大手町に移転)	病院、医院、幼稚園等のある住家を主体にした地域。城乾小学校北側の県道拡幅に伴い、一部街区整備が行われたが、住居地域としての地域状況に変わりはない。しかし、近頃空き地を活用して新しい住家も建ち始めている。
新浜町	地区の北部は、明治頃まで海であった(遍照寺裏あたり)が、次第に造成された地域。藤井高校の南から東についても、かつての池や石炭殻の捨場等が宅地に造成された。	藤井高校の北側筋の狭い道路に沿って住宅が並ぶ。かつて、中央開墾塩業・団扇生産に関わる人々が多く住んでいたが、製塩技術・地域産業の変遷等により、生活態様も変わってきた。中央開墾塩業の工場・塩田跡地も工場誘致のため造成され、新浜町に大規模量販店が進出し、新・改築された建物もあるが、街並みそのものは変わらない。

当地区には幼稚園・小学校・中学校・高等学校があり、文教地域を形成しています。

特に、西幼稚園・城乾小学校は百年以上の歴史があり、多くの園児や児童が学び巣立ちました。少子化が進むなか、心豊かで健やかに育てられるよう地域が一体となって、西幼稚園児と高齢者の「ふれあい会」や城乾小学校児童の「放課後子ども教室」を開催し「子育てするなら城乾」を合言葉に取り組んでいます。

## 2. 地域の人口構成・世帯構成

地域の世帯・人口は年々漸減の傾向にあります。また、職業・世帯分離などの理由で壮年世代や子どもが減る一方、高齢者世帯や独居高齢者は増加し、高齢化率は次第に高くなっている。

区 分	常住人口及び世帯数		自治会加入世帯数
	人 口	世 帯 数	
平成19年	3,441 人	1,666 世帯	1,062 世帯
平成29年10月	2,954 人	1,552 世帯	879 世帯
比 較	85.8 %	93.2 %	－ 183 世帯
1世帯の平均人口	1.90人 (平成29年10月現在)		

### ○ 年齢別人口

国勢調査

区 分	城 乾 地 区				丸 亀 市			
	人 口		構 成 比		人 口		構 成 比	
	平成17年10月	平成27年10月	平成17年	平成27年	平成17年	平成27年	平成17年	平成27年
年少人口 (0～14歳)	324	259	9.1	8.4	16,632	15,054	15.1	13.7
生産年齢人口 (15～64歳)	2,111	1,616	59.5	52.7	70,258	63,441	63.8	57.6
高齢人口 (65歳以上)	1,109	1,055	31.3	34.4	23,082	29,572	21.0	26.9
不 詳	4	138	0.1	4.5	113	1,943	0.1	1.8
合 計	3,548	3,068	100.0	100.0	110,085	110,010	100.0	100.0

## 3. 地域の商工業等は

社会情勢の変化や経済動向の推移により、地域の商工業等は衰退傾向にあります。その傾向が目立つ通町商店街では、かつて市内商業の中心であった景況に少しでも戻すことを目指し、色々なイベントを行い活性化に一生懸命取り組んでいます。

地域内では、港町に製薬所、鉄工業、冷凍倉庫等が事業展開しており、その他の地域においても建設・鉄工等の事業所、飲食店の生活関連店舗などがあります。

## 4. 神 社

### ◆ たまづみじんじゅ 玉積神社(西平山町)

新堀湛甫を築造するとき、浚渫した土砂で埋立地を作ったが、広さは東西約205m、南北約173mあったという。口碑によると、この積み上げた土砂の上に建立されたので「玉積の神」と呼んだといわれ、維新前までは金毘羅宮丸亀祈禱所でした。現在の本殿は京極藩の大坂蔵屋敷内にあった金毘羅宮本殿を明治4年に移築したものです。



### ◆ えびすじんじゅ 蛭子神社(西平山町)

祭神は事代主神、社殿は1間に1間半、鳥居は文久2年(1852)、手洗は文政4年(1821)とあり、山北八幡神社境外末社で、地元の人たちからは“お稲荷さん”と呼ばれ海の神、五穀豊穰・商売繁盛の神、として信仰されています。



◆ いつくしまじんじゃ 市寸島神社 べんでんじんじゃ (弁天神社) (福島町)  
いつくしまひめのみこと

今から三百年前に市寸島媛命を祭神とする弁才天と菅原道真公を祭神とする天満宮が祀られていました。文政元年(1741)に1社に合祀され、地域の代表的氏神として鎮座しています。戦後、外地から引き上げてきた人たちが境内に建物を構え、鳥居の内側に野菜、菓子、花などを売る店があり、昭和40年頃まで賑わいましたが、今は廃屋となって並んでいます。秋祭りには山北八幡神社の御旅所ともなり、地域では“弁天さん”と呼ばれています。



◆ えびす じんじゃ 蛭子神社 (福島町)

地域の事業者や住民の発願により祀られたもので、社殿(祠)、奉納幕に記された最も古い年代は昭和5年とあり、奉献者に重元氏(青果商) 亀山氏(燃料商)などの名が見られます。かつては夏祭りに花火もあげられ、賑わったものです。



◆ ふなたまじんじゃ 船魂神社 (福島町)

丸亀藩が海上の守り神として建てた神社で大阪の住吉大神を祀っています。もともと丸亀駅北側にあったものが山北八幡神社内に移築され、平成16年にこの地に再建されました。社地が狭いので鳥居、狛犬などは山北八幡神社に残されています。



◆ いずもたいしゃ 出雲大社 (福島町)

むかし、疫病が流行って困ったときに島田ミキさんという人が出雲大社の御札を受けて祀ったのが始まりだそうです。その後、町内の熱心な総代や氏子により受け継がれ榎木大明神、稲荷大明神も合祀され、おやしろ神社と親しまれています。現在の社殿は昭和2年建立。



## 5. 寺 院

◆ じゅかくいん 壽覚院 浄土宗 (南条町)

寛永18年(1641)丸亀藩主山崎家治の創立。市指定文化財の観音堂は江戸時代はじめに建てられ桃山時代の特徴が見られます。御本尊の木造十一面観音菩薩立像は弘法大師作と伝えられ、明治初期に金毘羅さんから移されたものです。



◆ ほんしょうじ 本照寺 法華宗 (南条町)

慶長の頃(1590年代)には、すでにこの地に法華堂として存在し、宇多津本妙寺8世日意上人が来て住み、その後次第に発展して本照寺となったという。本山は京都大本山本能寺で、門前には「南無妙法蓮華経」と書かれた大きな標石が立っています。



◆ そうせんじ 宗泉寺 日蓮宗 (南条町)

出雲から龍野、丸亀と京極家とともに移ってきたお寺で万治3年(1660)の建立。延宝4年(1676)玉泉院殿(初代藩主高和公の実母)をこの地に埋葬し、その念持仏(釈迦如来立像)を納めています。墓地にはほかに、歌覚院殿(二代藩主 高豊公実母) 芳泉院殿(多度津藩初代藩主高通公実母)などの墓があります。



ほうおんじ  
◆ **法音寺 浄土宗**（南条町）

京極高和公に従い龍野から丸亀へ移り、延宝2年(1674)に創立。観音堂には弘法大師作といわれる観音像があり、地藏堂の地藏像は鎌倉時代の作と伝えられています。墓地には、文学の井上通女、息子の儒学者三田義勝、西讃府志編纂の巖村南里、勤皇家土肥大作らの墓碑があります。



げんようじ  
◆ **玄要寺 臨済宗**（南条町）

京極家とともに若狭・出雲・播磨・讃岐と移り、丸亀へは万治元年(1658)高和公に従って来ました。当初は林溪・一枝・慈眼の3つの塔中と書院・庫裡・鐘堂・阿弥陀堂・鎮守社もありましたが、元禄11年(1698)12月晦日の火災で全焼。墓地には丸亀藩六代藩主京極高朗公(市指定文化財)、多度津藩主高慶公、昭憲皇太后の学問師範だった若江薫子、京極伊知子、仇討の田宮坊太郎などの墓も。



えんこうじ  
◆ **圓光寺 真言宗**（西平山町）

宇多津平山にあり聖通寺の末寺でしたが、慶長6年(1601)生駒親正が丸亀城を築く折、この地に移転。観音堂は元和5年(1619)創建。寛文3年(1663)文化15年(1818)に再建されました。京都御室にある宇多天皇が開基された仁和寺の末寺。



さいさんじ  
◆ **西山寺 真言宗**（福島町）

寶曆8年(1758)創建。本尊の木造釈迦如来坐像(市の指定文化財)は平安後期の作と言われ、遍照寺の庵として実道尼により再建、天保4年(1843)寺号を西山寺としました。代々尼寺で墓地には丸亀沖で死んだ大亀のお墓や馬の墓「黒川馬之墓」などもあります。



へんじょうじ  
◆ **遍照寺 真言宗**（新浜町）

正徳4年(1714)道隆寺の實嚴が隠居寺として開創。境内は東西40間南北24間で、丸亀藩・多度津藩主に尊崇され京極藩の祈禱寺として栄えました。明治36年(1903)本堂を学舎として鶏鳴学館を開設。墓地には實嚴大和尚、麗嚴和尚、加藤梅岩、大西為伯らの墓があります。



## 6. 史 跡

え どころじゅうどうろう たすけとうろう  
◆ **江戸講中燈籠「太助燈籠」**（西平山町）

江戸時代の終わりごろ、江戸の金毘羅さんを信仰する人たち約4,000人から3,000両余りのお金が集まり3基作られましたが、もっとも出来が良い燈籠を残し、2基は太平洋戦争中に金属回収のため献納されました。名前の由来は大正の終わり、当時の市長が多くのお金を出した塩原太助へのお礼と親しみをこめて「太助燈籠」と名付けたそうです。



けいめいがっかん  
◆ **鶏鳴学館**（新浜町）

明治36年(1903)、遍照寺に住職の蓮井麗嚴をはじめ桜井求吉、渡辺豊とともに開設。小学校教育にとらわれず、勉学を希望する者には、仕事に差し支えない早朝と夜間に集まり勉強しました。多くの生徒は鶏の鳴く早朝に起きて登校し勉強したので鶏鳴学館と名づけたそうです。その後、南条町(現城乾コミュニティセンター)に移転し、大正15年公益事業を目的に法人化され保健相談所になって地域の人たちに利用されました。



じゅうさんげん やふる い ど  
◆ 十三軒家古井戸 (西平山町)

江戸時代の十三軒家筋は海岸淵だったので、井戸を掘っても塩水しか出なかったのですが、この井戸だけは真水が出ました。その古井戸を共有する船宿が十三軒あったことから「十三軒家の古井戸」と呼ばれています。



きょうごくたかあきらこうぼしよ  
◆ 京極高朗公墓所 (南条町)

六代藩主高朗公は文化8年(1811)から約40年にわたって藩主を務め、新堀湛甫の築造、団扇や学問を奨励した名君で、丸亀発展の礎を築いた二代藩主高豊公と並び称されます。歴代藩主の墓は滋賀県近江(徳源院清滝寺)ですが、高朗公の墓だけは遺志によりここに 있습니다。神式の鳥居は明治に建てられてたもの。四方土塀に囲まれ、東西約20m、南北9m、門や塀には京極家の平四ツ目の家紋が刻まれています。



◆ こんぴら街道とその関連遺産 (道標・燈籠等)

◆ ヘンロ小屋丸亀城乾 (南条町)

四国八十八カ所第77番札所道隆寺と78番札所郷照寺の中間点に当たる当地に、県下第1号として、平成18年11月22日に完成。建築家歌一洋さんの主宰する「四国八十八カ所ヘンロ小屋プロジェクト」の事業で、歩きお遍路さんの休憩小屋になっています。



◆ 農人町・南条町講中 燈籠 (南条町)

南条町から三越に出る角に明和元年(1764)と刻まれた石燈籠があります。これは南条町と農人町(現在の中府五丁目)の人々で結成された講により建てられた常夜燈です。古地図でもこの場所にあり、道路は燈籠をかわして曲がっています。



◆ 南条町ポケットパーク (南条町)

平成24年に、丸亀市が整備した広場。こんぴら湊一丸亀街道として、太助燈籠からこんぴらさんまでのルート、その周辺の見所などが掲載した案内看板、休憩できるあずまやを設置し、寿覚院前にあった「南条町道標」を移設してポケットパークを整備したものです。



◆ 壽覚院前石燈籠 (南条町)

「左金毘羅道」(本宮百五十八丁)と刻まれた道標を兼ねた大阪講中燈籠があります。もともと河口にあったものが寿覚院山門横に移設されました。そばには南条町有志による明治13年(1880)建立の道標もあり、北面に「すぐこんひら」東面に「左こんひら道」南面に「右かわくち」と刻まれています。小公園整備の際、どちらも平成6年に現在地に移されました。



◆ こんぴら街道

「一生に一度は、こんぴらさんへ」と金毘羅参りが盛んになったのは、江戸中期以後のことで、丸亀、多度津、高松、阿波、伊予・土佐街道の金毘羅五街道のうち、最も栄えたのが丸亀街道でした。今も「こんぴら街道」には多くの燈籠、丁石や道標などが残っており昔の風情を感じることができます。



「参考資料」 丸亀市寺院名鑑、丸亀市神社名鑑、丸亀の歴史散歩、城乾百年のあゆみ、ガイド手帳、こんぴらさんへの道しるべ他



7. イラストマップ

# 私たちのまち城乾地区は…



海の玄関に立つ太助燈籠の背景には丸亀城が…

港町や西平山町・福島町の北部では、標高が1.8～2.0mと低く、高潮や大規模地震に伴う津波等の影響を受ける懸念がある。現に、平成16年夏の台風16号に伴う高潮災害で、この地域は広い範囲で被害を受けた。



創価学会  
丸亀文化会館  
(指定避難所)

丸亀聖母稚園

城乾小学校  
(指定避難所)

コミュニティセンター  
(指定避難所)

西平山町、福島町等では、古くからの町並みで狭い路地が多く、災害時避難路の安全確保、緊急車両の通行等に支障が懸念される。

平成19年3月から始まった、「江戸気分であよこっことんびら街道」のまち歩きでは、太助燈籠から、通町(「秋寅の館」に立ち寄り)を通り、法音寺・宗泉寺・壽覚院・玄要寺(京極家六代藩主 高朗公墓所等)を巡りつつ、南条町を抜ける道筋をたどるコースが設定されている。



人々に元気を、地域に活気を…  
例年賑わう「ふれあいまつり城乾」(2016・6・5)

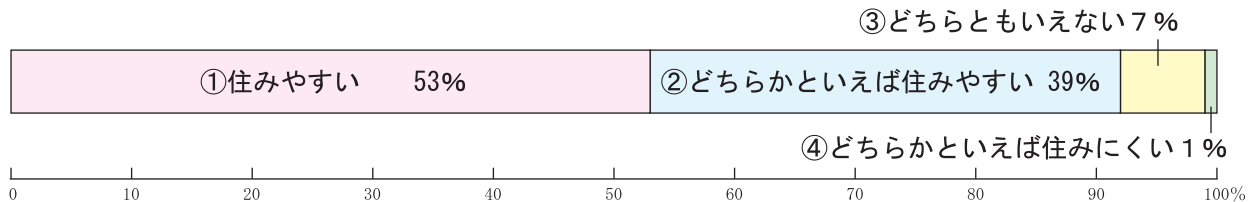
## 8. 地域住民の意識

### (1) アンケートに見る住民意識

城乾コミュニティでは、今回、まちづくり計画を策定するにあたり、年代別の声を聞くため「まちづくりアンケート」を実施した結果はつぎのとおりです。

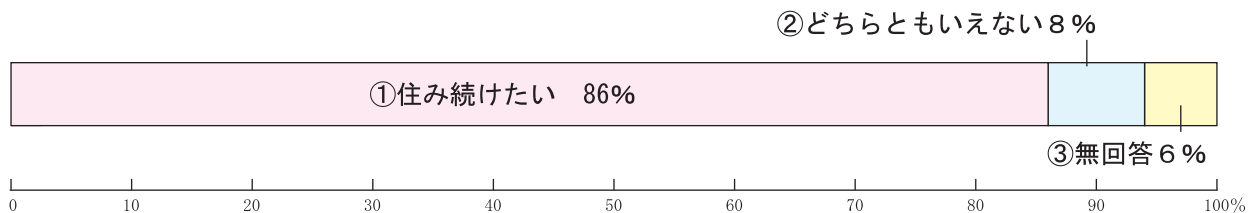
#### A 城乾地区の住みやすさ

- ・92%の住民が、城乾地区は“住みやすい”と感じており、“住みにくい”と感じているひとは1%にとどまっています。



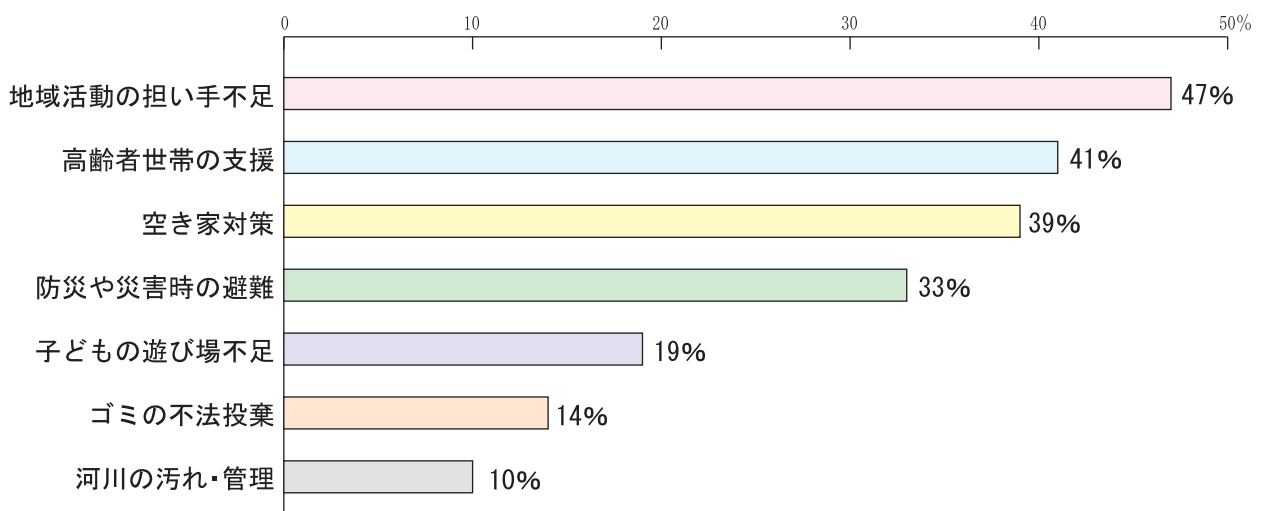
#### B 城乾地区に住み続けたいか

- ・“これからも住み続けたい”と思うひとの割合は、86%です。この数字は上記の住みやすい、どちらかといえば住みやすいと感じるひとの合計より6ポイント下がっています。



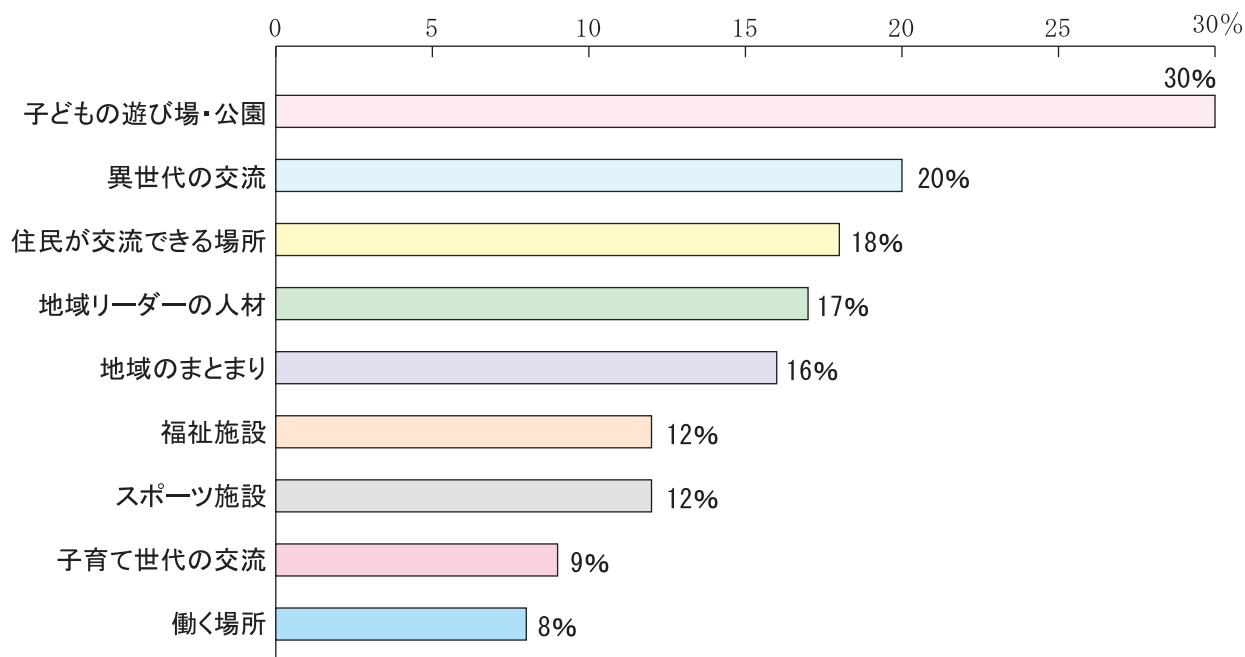
#### C 地域をあげて解決すべき問題や課題

- ・地域をあげて解決すべき問題や課題で、最も多いのは“自治会や子ども会など地域活動の担い手”で、以下多い順に“高齢者世帯の支援”、“空き家対策”、“防災や災害時の避難”、“子どもの遊び場の不足”、“ゴミの不法投棄”となっています。
- ・これを子育て世代(40歳代以下)に限ると2番目に“子どもの遊び場の不足”が入っています。



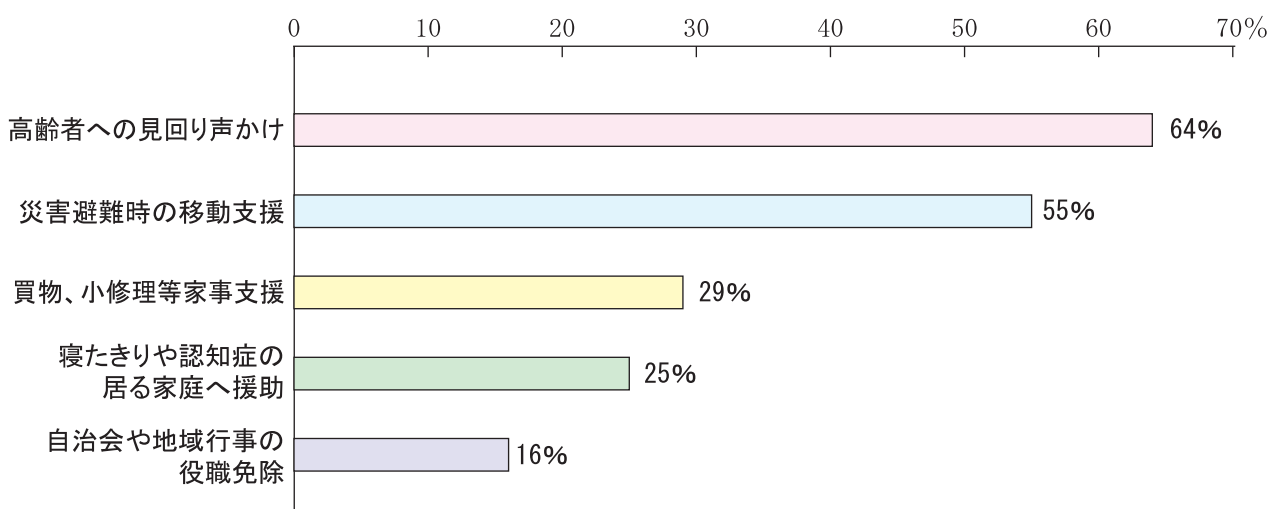
#### D 城乾地区に不足しているもの、また、あったらいいと思われるもの

- ・城乾地区に不足しているものやあったらいいものとしては、一番多いのが“子どもの遊び場や公園”で以下、“異世代の交流”、“住民が交流できる場所”、“地域リーダーとしての人材”の順となっています。
- ・これを子育て世代に限ると、二番目に“子育て世代の交流”、“スポーツ施設”と子どものことを重視していることが分かります。



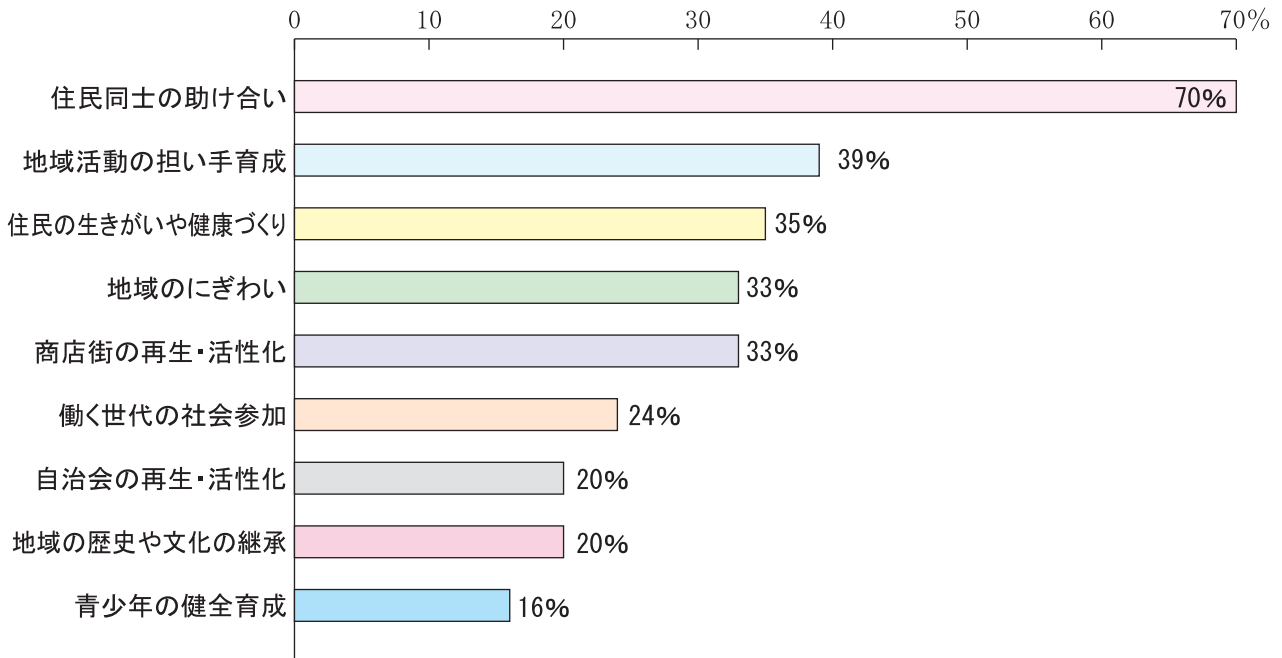
#### E 高齢者や障がい者への支援

- ・住民の87%のひとが、高齢者や障がい者が安心して住み続けられるように近隣の住民や同じ地域に住む住民として何らかの支援が必要と思っています。



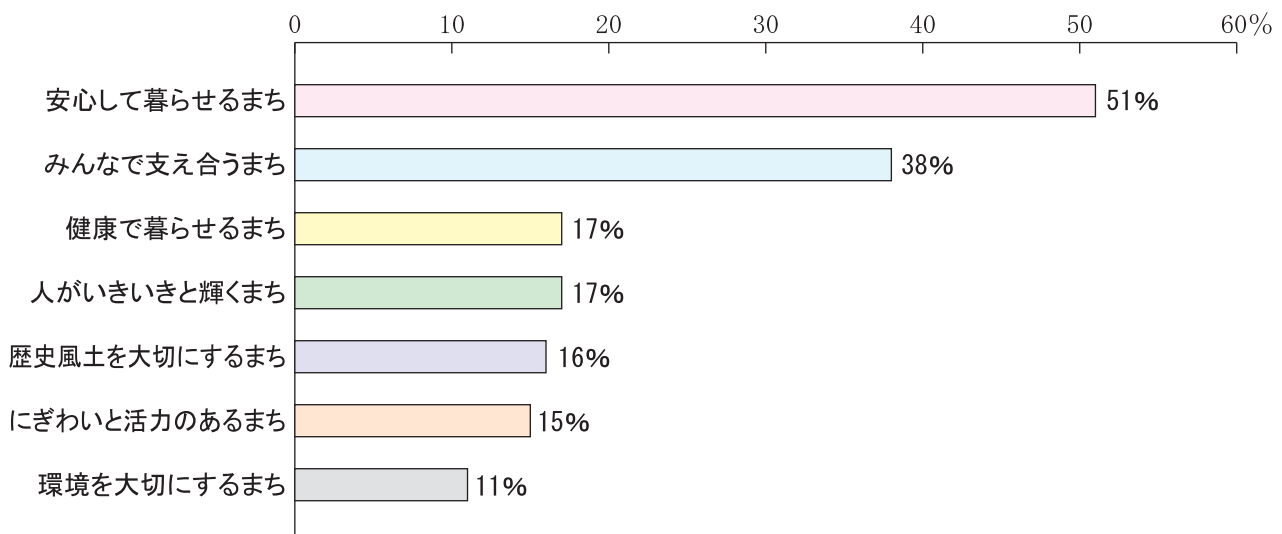
#### F これからの城乾地区のまちづくりにおいて、大切にしていけるべきこと

- ・ これからのまちづくりにおいて大切にしていけるべきことについては、“住民同士の助け合い”とするひとが70%と多く、以下、“地域活動の担い手”、“住民の生きがいや健康づくり”、“地域のにぎわい”、“商店街の再生・活性化”、“働く世代の社会参加”、“自治会の再生・活性化”、“地域の歴史や文化の継承”の順になっています。



#### G 城乾地区のイメージ

- ・ 城乾地区にふさわしいものとして、“安心して暮らせるまち”を指示するひとが51%と多く、以下、“みんなで支え合うまち”、“健康で暮らせるまち”、“ひとがいきいきと輝くまち”、“歴史風土を大切にするまち”となっています。



## II まちづくりプラン

### 歴史に学び絆を深めて地域力を向上

#### 総務部会

総務部会では住民が安心して心豊かに暮らすことが出来る地域社会を実現するため、コミュニティの構成団体・生涯学習クラブ等の協力を得ながら、城乾まつりの開催やコミュニティー日市長室、自治会長・福祉協力員・評議員研修会、防災訓練等を行い地域住民との「ふれあい」「活性化」を促進する。

#### 《にぎわいとふれあいを目指して》

#### (1) 現 状

- \* 地域の情報やコミュニティ活動の様子を城乾コミュニティ紙として発信しています。(年4回発行)
- \* 総会・役員会や部会長連絡会などを通じて情報を交換・共有し、コミュニティの活性化に取り組んでいます。
- \* コミュニティ役員、評議員が参加してコミュニティー日市長室を開催、直接意見交換しています。
- \* 自治会長、福祉協力員、評議員の研修を行っています。



#### \* 城乾コミュニティ総会

年に一度のコミュニティ活動の審議を行います。



#### \* コミュニティー日市長室

市長、地域担当職員を交えて、地域の問題も直接要望します。



**\* 城乾コミュニティ紙発行**

年4回発行。コミュニティ活動の報告・地域での出来事等の発信を行います。



**\* 自治会長、福祉協力員、評議員研修**

近県の防災施設等の視察を兼ねて、研修会を行います。

**(2) 今後の取り組み**

- \* 現在行われている事業は引き続き継続します。
- \* 新規に自治会・コミュニティのリーダー等、活動者の養成を行います。
- \* 各地区に掲示板を設置し、コミュニティからの情報を伝達します。

アクションプラン	具体的テーマ	目 標（具体的施策）					
		現 状	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
地域住民とのふれあいと地域の活性化	広報紙「港、ふれあいのまち城乾」の発行	年4回発行	継続	→	→	→	→
	地域住民とのふれあいと活性化	ふれあいまつり城乾	継続	→	→	→	→
	地域福祉にかかわるネットワークづくり	自治会長・評議員・福祉協力員研修会	継続	→	→	→	→
	安全・安心のまちづくり	防災訓練	継続	→	→	→	→
	自治会の活性化	自治会加入促進	継続	→	→	→	→
	コミュニティ等の指導者育成	新規	検討				
	地域掲示板設置	新規	検討				
	ホームページの開設	新規	検討				

# 心豊かな子どもを育む地域力の向上

## 健全育成 部 会

PTAや子ども会、地域の方と連携し、世代を超えた交流のなかから「マナー」や「自立心」「思いやり」や「協調性」を学び、地域の未来を担う心豊かな子どもを育てるための事業を企画・実施しています。

また子どもたちが安全に登校できるように、通学路での安全立哨を実施しています。

### (1) 現 状



#### \* 三世代交流ハイキング

幼児から高齢者まで、幅広い参加を呼び掛け、近隣の地域をハイキングしながら参加者同士の親睦を深めます。



#### \* わんぱく寺子屋

一泊二日のキャンプのなかで、団体行動の規律を学びかつ下級生への思いやりを育み、また楽しいレクリエーションから防災への意識を学びます。



\* 餅つき 体育部会の軽スポーツの参加賞として餅をつき、合わせて子どもたちは餅つきも体験できます。



**\*雪遊び**

親子や学校・子ども会の友達と一緒にスキー場で楽しい一日を過ごします。

**\*親子ケーキづくり**

親子で協力しながら、クリスマスケーキを作り親子でのふれあいの時間を共有します。



**\*しめ縄づくり**

地域のお年寄りの指導で、伝統文化ともいえるしめ縄をみんなで協力しながらつくり、先人の生活の知恵を学びます。

**\*通学路での立哨**

毎月第一月曜日に、通学路で安全立哨を実施します。

**(2) 今後の取り組み**

- \* 現在行われている事業は引き続き継続します。
- \* P T Aと連携し、家庭・地域が一体となった「あいさつ運動」を推進し、明るい笑顔あふれる城乾校区を目指します。
- \* 子どもがいつでものびのびと遊べる公園等の確保に努めます。

アクションプラン	具体的テーマ	目 標 (具体的施策)					
		現 状	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
子どもたちが安全で楽しく過ごせるまちづくり	通学路の安全	毎月第一月曜日の立哨	継続	➡	➡	➡	➡
	親子・地域の人との親睦	ハイキング	継続	➡	➡	➡	➡
		しめ縄づくり	継続	➡	➡	➡	➡
		餅つき	継続	➡	➡	➡	➡
	親子での楽しみ	ケーキづくり	継続	➡	➡	➡	➡
		雪遊び	継続	➡	➡	➡	➡
	自然・防災意識の高揚	わんぱく寺小屋	継続	➡	➡	➡	➡
あいさつ運動	新規	検討					



# 環境保全と環境美化推進で地域力の向上

## 環境部会

環境部会は、生活環境保全と環境美化運動を推進するとともに、地域の安全安心の向上を図るため歳末夜警と啓発活動を実践します。

### (1) 現 状

- \* 6・9・11月の年3回、地域住民参加の一斉清掃を実施し、ごみのない綺麗なまちをめざしています。
- \* 廃油を利用して粉石けんを作り、6月のふれあいまつりで住民に配布しています。
- \* 「段ボールコンポスト」を利用し生ゴミの減量化に取り組んでいます。
- \* 年末には歳末夜警の消防団の慰問を行っています。



### \* クリーン作戦

県・市協力のもと、リフレッシュ瀬戸内・「香の川」「さぬき瀬戸」パートナーシップ・さぬき瀬戸クリーンリレー事業に地域住民が参加し、ゴミのないまちを目指しています。

### \* 段ボールコンポストで堆肥づくり

家庭の生ゴミを利用して段ボールにピートモスともみ殻の炭で堆肥を作ります。ゴミ減量化につながる、環境にも優しい活動です。





### \* 粉石けんづくり

環境美化啓発活動の一環として、ふれあいまつりのバザーで出た廃油を、粉石けんに再生します。それを次の年のふれあいまつりで配布します。

## (2) 今後の取り組み

- \* 現在行われている事業は引き続き継続します。
- \* 環境美化推進員等を中心として、日頃から公園・ゴミステーション等の投棄情報を共有し、看板等の設置や広報による啓発を継続的に行い、ゴミのない安全な住みよいまちを目指します。

アクションプラン	具体的テーマ	目 標 (具体的施策)					
		現 状	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
環境美化運動と地域の安全力の向上	ゴミのない綺麗な町を目指して	年3回の住民参加の一斉清掃	継続	→	→	→	→
	廃油から粉石けんづくり	年3回実施	継続	→	→	→	→
	生ゴミの減量再利用のため段ボールコンポストづくり	随時実施	継続	→	→	→	→
	牛乳パックを利用した紙すきハガキづくり	夏休みいぬいっ子クラブで実施	継続	→	→	→	→
	歳末夜警慰問	2地区で実施	継続	→	→	→	→

# 高齢者慰問や三世代の交流による福祉の地域力を向上

## 福祉部会

高齢化率が丸亀市全体より非常に高い地域ならではの絆づくり、誰もが安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。

### (1) 現 状

- \* 城乾地区の高齢化率は34.4%（平成27年10月現在）で市平均の26.9%に比べると高齢化率が高い地域です。
- \* 福祉部会では民生委員・福祉ママを中心に75歳以上の独居老人に年5回の慰問と80歳以上の高齢者慰問を行っています。
- \* 独居老人と西幼稚園園児の「ふれあい会」を開催しています。

#### \* 高齢者慰問

一人暮らしの高齢者を手づくりおはぎで慰問をします。



#### \* ふれあい会

高齢者と西幼稚園の年長児が歌やふれあい遊びをして交流を楽しみます。

**\*花鉢プレゼント**

城乾小学校の6年生が花鉢に手紙を添えて、一人暮らしの高齢者を訪問します。



**\*友愛訪問**

年間5回、粗品を持って一人暮らしの高齢者宅へ、安否確認を兼ね見守り活動を行っています。

**(2) 今後の取り組み**

- \*現在行われている事業は引き続き継続します。
- \*行政や他の組織の協力のもと、高齢者世帯などの状況の把握に努め、効果的な高齢者支援を行っていきます。
- \*児童福祉において児童・シニア・親世代の参加を含め、三世代交流するなかで児童の豊かな社会性が育つように支援していきます。

アクションプラン	具体的テーマ	目 標 (具体的施策)					
		現 状	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
安全に安心して暮らせるまちづくり	友愛訪問による安否確認	年5回のおはぎ・まつり寿し等慰問	継続	→	→	→	→
	なかよしふれあい会	園児と一人暮らしの高齢者のふれあいの会	継続	→	→	→	→
	三世代の交流(伝統行事やむかし遊びの伝承)	新規	検討				

# 生活習慣と受診率の改善で健康の地域力を向上

## 保健部会

### 健康に関心を持ち、必要な健康診断を受け健康状態を知る

いきいき生活を送るため、自分や家族の健康状態に関心を持ち、地域の人々とのつながりを大切にし、思いやり、支え合い、地域ぐるみで健康づくりに取り組みます。

## (1) 現 状

- \* ふれあいまつり城乾で、骨密度・肺年齢・血管老化度・体力測定などを行っています。年3回の健康講演(習)会を開催し、生活習慣病予防等の啓発を行っていますが、参加者が固定化してきているのが課題です。
  - \* 親子料理教室を開催。食の大切さや親子のふれあい等を学びます。
  - \* 平成26年度から「健康ポイント制度」を導入し、各種健康診断や健康教室、認知症予防の会に参加して、ポイントを多く集めた人には、ふれあいまつりで表彰して、健康意識の向上に努めています。
- 毎年検診を受けようと思う人は増加していますが、検診の受診率は他地区に比べると低く、特に若い世代の低さが目立っています。地域の状況は、他地区に比べるとBMI(肥満度)、糖尿病、喫煙や飲酒、睡眠に問題を抱えている人が多く、毎日朝食をとっている人は少ないようです。



### \* 健康講演会

講師を招いての身近な健康に関する話は、「とても有意義で勉強になります」という声が多いです。



\* **健康講習会** ふれあいまつりの健康測定の結果報告とその対策を学びます。



**\*健康ポイント表彰式**

一年間通してたくさんポイントを集めた方に。



**\*親子料理教室**

親子で食育について学び、おいしいお弁当を作ります。



**(2) 今後の取り組み**

- \*現在行われている事業は引き続き継続します。
- \*あらゆる機会を活用して、各種健康診断の受診や健康相談・健康講演（習）会への参加声かけを継続し参加者増を目指します。
- \*生活習慣病や高齢化に対応したバランス料理教室を地区（町）ごとに開催し、地域住民の健康づくりを推進します。
- \*子どもたちの生活習慣病の予防のため、幼少期からよい生活習慣を身につけさせ、早寝早起き朝ごはん運動の普及啓発及び食事の楽しさ・大切さを伝えていきます。

アクションプラン	具体的テーマ	目 標（具体的施策）					
		現 状	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
健やかな心と いきいき生活	健康教室	年3回開催	継続	➔	➔	➔	➔
	親子料理教室	年1回開催	継続	➔	➔	➔	➔
	各種がん検診や特定健康診査等の受診の声かけの推進	28年度受診率 特定 24.0% 肺がん10.0% 歯周病18.1%	声かけ推進 特定 25% 肺がん 15% 歯周病 20%	声かけ推進 特定 30% 肺がん 20% 歯周病 25%	声かけ推進 特定 35% 肺がん 25% 歯周病 30%	声かけ推進 特定 40% 肺がん 30% 歯周病 35%	声かけ推進 特定 45% 肺がん 35% 歯周病 40%
	健康ポイントカード配布	平成26年度から実施	継続	➔	➔	➔	➔
	愛育班活動（地域の方対象）	任意加入 随時活動	継続	➔	➔	➔	➔
	センターでの健康相談（保健師相談）	月1回	継続	➔	➔	➔	➔
	すくすくルーム 乳幼児・妊産婦 対象	月1回	継続	➔	➔	➔	➔
	料理教室 食生活改善推進員が中心となり食生活の改善を推進	新規	検討				

# 地域の親睦と交流をキーワードに地域力を向上

## 体育部会

お年寄から子どもまで、スポーツを楽しむことによって、健康の増進を図り、地域住民の連帯感を深め、元気あふれるまちを目指します。

### (1) 現 状

- \* 三世代が一緒になって「卓球」「ハイキング」「室内ペタンク」を行います。小学校・幼稚園PTAチームや地域住民のチームで行われるソフトバレーボール大会を実施して、体力づくりを推進しています。
- \* 地域の人々の親睦と絆づくりのため、「月見の宴」を開催し、地域住民のふれあいの場を提供しています。



#### \* 卓球大会

幼児から高齢者まで、初心者の方も参加して、楽しい大会を行っています。



#### \* 三世代交流ハイキング

健全育成部会と合同で、島・お寺・公園等を巡り、自然にふれながら秋の1日を楽しみます。



#### \* 軽スポーツ

三世代で楽しむペタンク大会。ファミリーでの参加が増えています。



#### \* ソフトバレーボール大会

幼・小PTAやソフトバレーが好きな地域の方が参加します。



マジックショー

### \*月見の宴

「地域の親睦」にと始めて、十数年が過ぎました。毎年参加者も増え、交流の輪が広がっています。

## (2) 今後の取り組み

- \*現在行われている事業は引き続き継続します。
- \*新規事業として、一つ目は健康増進を目的とした運動で、一人でも出来るウォーキングを取り入れ、歩く距離、歩数、時間などを計り運動量や消費カロリーを定量的に管理するもの。二つ目は普段運動をしない人でも楽しめるニュースポーツを検討し健康の維持や増進に役立てていくものです。

アクションプラン	具体的テーマ	目 標 (具体的施策)					
		現 状	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
手軽に楽しめるスポーツや健康づくり	ソフトバレーボール	ママさん・ファミリー大会実施	継続	→	→	→	→
	卓 球	三世代交流大会の実施	継続	→	→	→	→
	室内ペタンク	室内大会の実施	継続	→	→	→	→
	ハイキング	健康ハイキング	継続	→	→	→	→
	ウォーキング (地域の神社・史跡を回るコース設定)	新 規	検討				
	ニュースポーツの普及活動	新 規	検討				
親睦と絆づくり	月見の宴	十五夜を愛でながら宴を楽しむ	継続				



## 特別 委員会

城乾コミュニティでは会則第2条の目的を達するために、第5条の事業を行うが、特別に事業を推進する必要がある場合には、特別委員会を設けて事業を行います。

### ① ふれあいまつり

平成11年11月に第1回「ふれあいまつり城乾」を開催し、毎年多くの参加者でにぎやかにこなわれています。平成30年は20回目の節目を迎えます。



### ② 防犯パトロール

防犯パトロールは平成17年12月に発会し、毎週月曜日・金曜日に小学生の見守り活動を実施。毎月10日を「安全の日」として地域内のパトロールを行っています。



### ③ チャレンジデー

平成24年5月の最終水曜日から毎年、丸亀市主催のチャレンジデーイベントに地域をあげて参加しています。参加者は、15分以上の運動をして、いい汗をかいています。



### ④ 防災事業

自主防災組織である城乾コミュニティ防災ネットワークを平成16年11月に立ち上げ、南海トラフ巨大地震に備え毎年防災訓練を実施してきました。発足から10年を越え、地域住民も高齢者が多くなり、巨大地震の確率も向う30年間で80%に高まりました。自助・共助の精神を新たにして減災に向け、関係各所や市内自主防災等と連携し、地域住民の力を合わせて当自主防災組織の強化や安全対策等を推進していきます。



### ⑤ 放課後子ども教室(いぬいっ子クラブ)

平成24年4月から城乾小学校の「青い鳥教室」に通っていない児童を対象に、夏休み中の13日間、子どもたちと一緒に夏休みの宿題・施設見学等学校では出来ない色々な体験をしています。



### ⑥ 高齢者認知症予防対策事業

平成22年4月から地域ごとに月1回以上、高齢者を対象に認知症予防対策事業として、自治会館、地域の集会所等で実施しており、平成22・23年頃は延べ2,000人の参加がありましたが、現在は約半分位になっています。

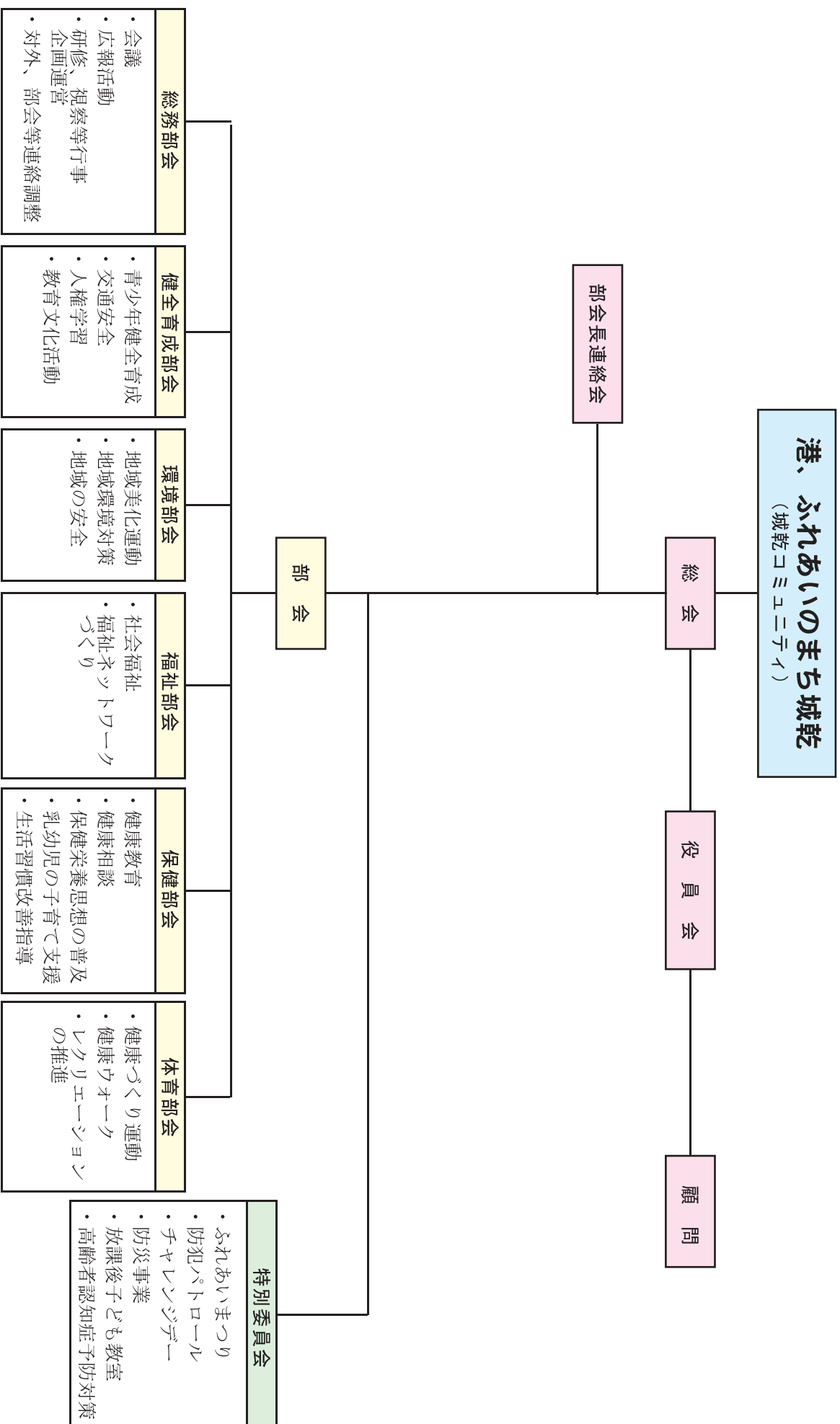


### Ⅲ 資料編

#### 1. 城乾地区の変遷（歩み・出来事）

西 暦	年 号	主 な 出 来 事
1833年	天保4年	新堀湛甫建設完成初入舟（8月）
1838年	天保9年	太助灯笼の建立（10月）
1887年	明治20年	南条町玄要寺境内に「那珂多度郡丸亀高等小学校」を設置（城乾小学校の前身）（4月）
1896年	明治29年	通町に町立幼稚園創立（西幼稚園の前身）（4月）
1903年	明治36年	鶏鳴学館設立（遍照庵内に私立学校として設立）（10月）
1904年	明治37年	丸亀市立西幼稚園として現在の地に移転（7月）
1910年	明治43年	丸亀市立城乾尋常高等小学校と改称（4月）
1945年	昭和20年	太平洋戦争終戦（8月）
1947年	昭和22年	学制改革（六三制実施）により城乾小学校と改称（4月） 警防団が消防団に改編（8月）
1951年	昭和26年	東中学校開校（4月）
1963年	昭和38年	琴参電車が廃止（9月）
1966年	昭和41年	予讃線丸亀～多度津間に複線が開通（4月）
1968年	昭和43年	予讃線高松～多度津間の蒸気機関車姿消す（4月）
1987年	昭和62年	丸亀周辺の高架と坂出～多度津間の電化が完成（10月）
1988年	昭和63年	新丸亀駅開業（3月） 京極大橋が完成（3月） 瀬戸大橋開通（4月）
1991年	平成3年	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館が完成（11月）
1993年	平成5年	みなと公園再整備 休憩用展望台等が完成（3月）
1995年	平成7年	兵庫県南部地震発生（阪神・淡路大地震）（1月）
1996年	平成8年	丸亀市立西幼稚園創立100周年記念式典（11月）
1998年	平成10年	城乾コミュニティ発足（4月）
1999年	平成11年	丸亀市立城乾小学校新校舎落成記念式典（5月） 城乾コミュニティセンター開設（12月）
2004年	平成16年	台風16号による高潮で福島町で住宅など浸水（10月） 城乾コミュニティ自主防災組織結成（11月）
2005年	平成17年	丸亀・綾歌・飯山の1市2町が合併し新丸亀市が誕生 城乾パトロール隊発足（12月）
2008年	平成20年	私たちの「まちづくり計画Ⅰ」の策定（1月）
2009年	平成21年	丸亀市消防団第4分団屯所新築落成（3月）
2010年	平成22年	城乾コミュニティセンター新築落成（3月） 「まちづくり計画」推進事業認知症予防対策（4月） 丸亀市立城乾小学校創立100周年記念式典（11月）
2012年	平成24年	放課後子ども教室（夏休み子ども教室）開設（4月）
2013年	平成25年	丸亀市消防団第2分団屯所新築落成（10月）
2018年	平成30年	私たちの「まちづくり計画Ⅱ」の策定（3月）

2. コミュニティ組織図



### 3. 「港、ふれあいのまち城乾」まちづくり計画Ⅱ策定委員名簿

氏 名	所 属	役 職
曾 根 照 正	港、ふれあいのまち城乾	会 長
原 田 義 郎	同 上	副会長・総務部会長
都 築 毅	同 上	副 会 長
林 誠	同 上	副 会 長
佐 藤 隆 繁	同 上	副 会 長
福 部 久 美	同 上	副 会 長
新 居 義 章	同 上	監 事
小 阪 喜美子	同 上	監 事
細 谷 郁 夫	同 上	健全育成部会長
高 津 義 幸	同 上	環 境 部 会 長
村 上 尚	同 上	福 祉 部 会 長
田 村 礼 三	同 上	保 健 部 会 長
芥 慶 和	同 上	体 育 部 会 長
平 田 貴 久	城乾小学校 校 長	理 事
松 永 竜 一	城乾小学校 P T A会長	理 事
三 木 友 見	西幼稚園 園 長	理 事
木 村 卓 志	西幼稚園 P T A会長	理 事
雁 木 秀 一	城乾地区防災士	
吉 田 勝	消防団第二分団長	
小 阪 久美子	城乾地区福祉ママ会長	理 事
松 柳 茂 代	城乾地区食生活改善推進協議会	代 表 者
最 相 ゆり子	城乾母子愛育班	班 長
小 松 茂	丸亀市体育協会城乾支部	支 部 長
小 阪 正 裕	城乾地区スポーツ推進員	
西 山 正 義	城乾校区少年団体	代 表 者
山 本 直 樹	学識経験者	
山 本 直 久	学識経験者	
福 部 正 人	学識経験者	
伊 藤 傑	丸亀市地域担当職員・まちづくり担当	
河 村 敦 生	丸亀市地域担当職員・防災担当	
繁 里 伊	丸亀市地域担当職員・保健担当	
佐 藤 常 光	コミュニティセンター所長	
香 川 由 吏子	コミュニティセンター職員	

## 私たちの「まちづくり」計画Ⅱ

---

平成30年4月発行

編集／まちづくり計画Ⅱ策定委員会  
発行／港、ふれあいのまち城乾  
「城乾コミュニティ」

丸亀市南条町34番地28号 城乾コミュニティセンター  
TEL・FAX 0877-21-0012

